

へき地遠隔医療分科会

1. 分科会の目的

へき地における遠隔医療、オンライン診療等について現状や課題を関係者で共有し、へき地医療の確保および地域包括ケアを推進につながる学術活動を実施する

2. 令和6（2024）年度活動実績と成果

現在、12名のメンバーが在籍。厚生労働科学研究費補助金（令和3～5年）「海外の制度等の状況を踏まえた離島・へき地等におけるオンライン診療の体制の構築についての研究（21IA2007）」において、分科会のメンバーの古城氏は分担研究者、長谷川氏、杉田氏、森川氏は研究協力者として活動した。2024年11月9日に開催された第13回日本遠隔医療学会学術集会（岡山）において、厚生労働省医政局地域医療計画課の中西浩之氏を招聘し、分科会企画「へき地医療に遠隔診療を適切に組み合わせるために」を開催した。2025年3月22日 第3回へき地遠隔医療推進協議会を三重県津市開催予定。

3. 令和7（2025）年度活動計画

第14回日本遠隔医療学会学術集会（長崎）において、分科会企画を開催予定。第4回へき地遠隔医療推進協議会（場所：未定）を実施予定。